まちの話題

市消防操法大会
～「規律・速さ・正確さ」日頃の訓練の成果を発揮～

第６回南九州市消防操法大会が、７月３日、南九州消防署で開催されました。大会では、頴娃、知覧、川辺の各方面隊から「ポンプ車の部」に 20 分団、「小型ポンプの部」に 12 分団が出場し、火災消火を想定した基本操作の正確さと火点の的が倒れるまでのタイムを競いました。

強風の吹く中、選手の皆さんは日頃の訓練の成果を発揮しようと全力で競技しました。

「ポンプ車の部」、「小型ポンプの部」共に知覧方面隊中央分団が優勝し、ダブル優勝を分団員全員で喜んでいました。

優勝した知覧方面隊中央分団は、上部大会の川辺支部操法大会に出場します。

▲「ポンプ車の部」で優勝した知覧中央分団の選手。左から、難波孝幸さん、福永英行さん、城ケ崎一也さん、宮原友春さん、松久保政利さん

▲「小型ポンプの部」で優勝した知覧中央分団の選手。左から、阿野山栄太郎さん、川口洋さん、赤﨑美行さん、折田宏樹さん

■ポンプ車の部

順　位	分　団　名
優　勝	知覧方面隊　中央分団
準優勝	知覧方面隊　霜出分団
3　位	川辺方面隊　勝目分団

■小型ポンプの部

順　位	分　団　名
優　勝	知覧方面隊　中央分団
準優勝	川辺方面隊　勝目分団
3　位	川辺方面隊　東区分団

よい歯元気いっぱい！
～図画・ポスターコンクール　表彰式～

６月 18 日、ふれあいかせだ（南さつま市）で“よい歯元気いっぱい”図画・ポスターコンクールの表彰式が行われました。全体で 3,000 点を超える作品の中から、小学校低学年の部において清水小１年の国生星来さんが、中学校の部において別府中３年の蓮子乙葉さんが、最高賞の南薩歯科医師会会長賞を受賞しました。特別賞・特選の受賞者については、市ホームページをご覧ください。

▲表彰式に出席した国生さん（前列右から２番目）と蓮子さん（前列右から３番目）。南九州市からは小・中学校合わせて 1,633 点の応募がありました。

▼棒引き合戦（表紙写真）など、田んぼの運動会を楽しみました。みんなそろってどろんこ記念写真。

親子でどろんこ大運動会
～霜出・青戸緑の少年団～

６月 18 日、霜出緑の少年団主催“第２回どろんこ大運動会”が、青戸緑の少年団と合同で開催されました。育成者が永里川から水をくみ上げ準備した知覧町瀬世の田んぼで、フラッグレースやタッチラグビー、ソリレースなど５種目の競技が行われ、親子でどろんこになりながら楽しみました。子どもたちは「べたべたして目が痛いけど、思いっきり遊べて楽しい」と、日頃ない貴重な体験を喜んでいました。

飯倉神社のお田植えまつり
～宮の棒踊りと田の神舞を奉納～

毎年飯倉神社（川辺町）のお田植えまつりで奉納される宮の棒踊りは、3自治会が交代で奉納し、それぞれ隊形や使用する棒の長さなどが異なります。今年は7月3日、宮中福良の若者が2列縦隊の4人一組で六尺棒と三尺棒を使用し、歌に合わせて踊りました。県内で今年最後のお田植えまつりということで、市外からのカメラマンも多く見られました。

▲宮中福良自治会の年だけ、牛が田ならしに参加。本物のように動く牛が倒れこむ姿に歓声があがりました。

安全で安心な地域社会を
～7月は社会を明るくする運動の強調月間～

7月1日、川辺保護区保護司会南九州市会各支部（川辺・頴娃・知覧）は、各地域の中学校正門前などで登校途中の生徒などへ朝のあいさつをしたり、商店街などでメモ帳を渡し犯罪のない明るい社会を築きましょうと呼びかけたりしました。頴娃支部では、頴娃中学校の生徒も一緒に広報活動を行いました。

▲市内で活動されている保護司の方々が市長へ、総理大臣と県知事からのメッセージを伝達しました。

川の恵みを知る
～万之瀬川振興会の方々と共に～

6月10日、川辺小学校の5年生が近くを流れる万之瀬川（広瀬橋付近）で万之瀬川振興会と体験学習を行いました。児童は振興会が仕掛けた籠の中の生き物の調査や観察、ウナギの生息場所となる石倉の設置のほか、座学の後にアユの塩焼きを食べ、身近な川の水質保全や魚たちの生育環境を保護することの大切さを学びました。

▲児童はウナギやアユの生態や環境保全について、また、石倉の仕組みなどを学んだ後、おいしい塩焼きを食べました。

鹿児島水産高校に学ぶ
～ヒラメ稚魚体験放流～

6月10日、市内小学生を対象に頴娃漁港石垣港で水産体験学習を開催。鹿児島水産高校3年生15人が先生役となり、ヒラメ稚魚放流をはじめ、普段見ることのない海の生き物に触れたり、ダイビング器材の装着体験などを通じて水産業の魅力を学び、多種多様な知識や技術を持った人と交流ができて貴重な経験となりました。

▲今回で11回目を迎え、過去最多となる5校100人が参加。高校で育てた約1,000匹のヒラメの稚魚を放流しました。

安全機能付きガスコンロを使って
～大丸小学校で親子料理教室～

6月11日、㈳県LPガス協会南薩支部川辺分会主催の親子料理教室がありました。これは、ガスコンロを使って親子で料理をすることで家族のふれあいの場をつくり炎の文化を絶やさないことを目的に、県内各地で毎年開催するものです。当日はグリルでゆで卵を作る驚きのレシピも。児童は保護者の手伝いをもらいながら熱心に料理しました。

▲5年生で初めてガスコンロを使う授業をしますが、この日は低学年の児童も保護者らと着火などのボタンを操作していました。

農業に関心深まる
～市内中学生が職場体験～

頴娃農業開発研修センターでは、市内の子どもたちに農業に関心を持ってもらおうと職場体験学習の受入を行っており、今回頴娃中学校3年生4人がユリの摘蕾やさつまいもの苗の植え付けなどの作業を体験しました。生徒たちは「今回の体験を通して、作物により深く興味を持つことができました」と話しました。

▲ユリの蕾を一つずつ手作業で摘んでいきます。この作業をすることで、球根の肥大を促すそうです。